

【様式1】

令和7年度事務事業評価（事後評価）
(令和6年度実施事業)

				課コード	1203		事業番号	01									
事業の概要(Plan:計画)		部局名	建設部	課名	河川課		担当名	木下									
連絡先		3531	事業開始年度		R3	事業終期年度		-									
事業名		まるごとまちごとハザードマップ事業		事業の実施方法	業務委託		事業の分類①	市独自事業									
事業の分類②		建設整備															
根拠法令	-																
事業内容	大規模な洪水による地域の水害リスクについて啓発を行うことで、日頃から水防災への関心を高め、市民の防災意識の向上を図るため、災害発生時には命を守るために主体的な避難行動を促し、被害を最小限に抑える。 大規模な洪水における浸水深等に関する標識を設置する。																

事業の実施(Do:実施)			令和5年度 決算		令和6年度 当初予算		令和6年度 決算		令和7年度 当初予算	
事業費等	人件費	①常勤職員	人工	人件費	人工	人件費	人工	人件費	人工	人件費
		②会計年度任用職員		0		0		0		0
		合計A (①+②)	0.10	830,000	0.20	1,680,000	0.24	2,040,000	0.00	0
	事業費内訳	①国・県支出金		0		6,000,000		6,000,000		0
		②市債		0		0		0		0
		③その他の財源		0		0		5,300,000		0
		④一般財源		6,600,000		7,000,000		1,482,000		0
		合計B (①～④)		6,600,000		13,000,000		12,782,000		0
	総事業費合計(A+B)			7,430,000		14,680,000		14,822,000		0
	事業費が増減した理由									
成果	成果指標	総合治水対策の実施率				R4年度	R5年度	R6年度	達成度	
	成果指標の説明	洪水ハザード標識の設置割合				目標	80.0%	87.3%	95.6%	A
						実績	95.9%	95.9%	100.0%	目標を達成した、または目標を上回って達成した
事業の実績	R6年度事業：洪水ハザード標識設置 700か所 R6年度整備率：(590か所: R4年度まで+700か所) ÷ 615か所 × 100 = 209.8% ⇒ 100%超過									

事業の評価(Check:見直し)		
評価の観点	評価	評価内容の説明
必要性	社会的なニーズ	<input checked="" type="radio"/>
	市が実施すべき妥当性	<input checked="" type="radio"/>
	民間との連携	<input checked="" type="radio"/>
有効性	事業目的達成への繋がり	<input checked="" type="radio"/>
	事業見直しの必要性	<input checked="" type="radio"/>
	ニーズの傾向	<input checked="" type="radio"/>
効率性	活動量の成果	<input checked="" type="radio"/>
	将来コストの見込み	<input checked="" type="radio"/>
	受益者負担の適正度	<input checked="" type="radio"/>
外部評価・包括外部監査の指摘(概要)	-	
上記に対する措置等	-	
事業を実施した上で課題等	設置するにあたり、市ホームページ(すまいるマップの更新)や広報、出張講座の活用などにより周知・啓発を行う必要がある。 標識の更新にあたっては、継続する必要性があるか、検討する必要がある。	
総合評価	A(事業内容は適切である)	
総合評価の説明	本事業により、平時から水災害への関心を高め、市民の防災意識の向上が図られるとともに、自主避難の促進により、被害の軽減が図られると考えられる。 第5次越谷市総合振興計画の指標に掲げられている「総合治水対策(ソフト対策)の実施率」の目標値100%を達成している。	

今後の方向性(Action:改革改善)		
今後の方向性	現状のまま継続	
次年度の取組内容	標識の更新は、設置から5年後に予定しており、令和3年度に設置した標識については、令和9年度に予定している。 ※令和4年度、令和6年度に設置した標識についても、設置5年後に更新予定。	
外部有識者の意見を取り入れる意向	なし	